

町報

No.272

# こうふ

1993

11月



真赤な紅葉  
みつけました

(俣野川発電所ご案内ホール入口)

# 新鮮な“奥大山の水”

## いよいよ、本格的に全国へ発信

### 奥大山の水処理加工施設工事始まる

奥大山のふもとから、こんこんと湧き出す「奥大山の水」。米子空港などで販売を始めて約一年半。その間、新鮮でおいしい水と各地から多くの反響があり、需要に応じきれない状況です。

そして、いよいよ本格的に奥大山の水工場を建設し、全国にチロルの里の豊かな自然を提供することが始まります。ここでは、奥大山の水の特色、水工場の施設の概要などについて紹介します。

### 水のおいしさの秘密は 硬度などの成分

奥大山の水につ

つあります。

いて各種イベントでのアンケートの結果をみると「おいしい」との回答率は七〇%を占め、利用方法でも「コーヒー」「お茶」「水割り」そして「ご飯」の順で、

とついで、この奥大山の水が何故おいしいのか、またその安全性はどうかといった疑問を持つておられる方もあると思いますので、その疑問にお答えしたいと思えます。

まず、そのおいしさの秘密の成分ですが、特にきわだってい

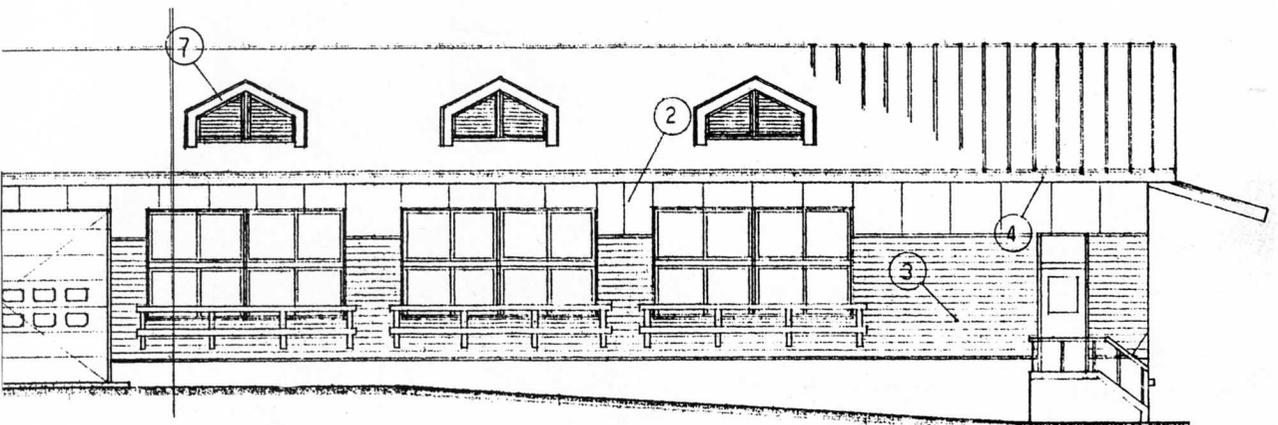
るのが、硬度が11という数値です。通常50以下がおいしい水（厚生省判定基準）の条件とされるこの硬度とは、ミネラル成分のうちカルシウムとマグネシウムの量から計算されるもので、硬度が低いものは飲用はもちろんのこと料理にも最適です（ちなみに、国産ミネラルウォーターの硬度平均値は91です）

新鮮で安全な水を求める最近の傾向は徐々に増加し

なかには「洗顔」と答えた方もありその用途もさまざま。

### 奥大山の水の成分

区分 項目	おいしい水の要件 厚生省判定基準	奥大山の水
PH	6.0 ~7.5	6.8
全硬度 (mg/l)	50以下	11
蒸発残留物 (mg/l)	50 ~200	29
塩素イオン (mg/l)	50以下	3.6
過マンガン酸消 費量 (mg/l)	1.5以下	0.4
鉄 (mg/l)	0.02以下	0.05
臭味	なし	なし



# 豊かな自然を

## 奥大山の水がアピール

さて、安全性についても、奥大山の水は厚生省令水質基準値（二十七項目）をすべてクリアしており、安全性においても保証つきの水です。左の表にその検査結果の一部を紹介いたしますのでご覧ください。

そして、町が奥大山の水を全国に販売するねらいは次の三点

- ① 私たちの住んでいる地域の豊かな自然をアピールすること。
  - ② この豊かな自然を生かして産業を起こすこと。
  - ③ 地域の雇用拡大を図ること。
- 以上のねらいのもとに工場の建設が始まりました。

積 三六〇平方メートル、鉄骨平屋建て平成六年四月操業予定を目指して、十一月十日に起工式が行われました。

さて、ここで製造工程について説明したいと思います。

まず、水源地よりタンクローリーで水を工場に持ち込みます。タンクローリーからくみ出された水は一二〇℃で約十秒間、殺菌を行ったのち、八〇℃まで温度を下げます。

そのあと、ボトルに入れて、キャップをしたのちに品質検査を行い、ボトルクーラーに入れ

て四〇℃まで下げます。

そして、奥大山の水のシールをはるなど細かい作業をしてでき上がりです。

最大能力は一時間当たり八百本（一・五リットル）を製造することができま。しっかりと安全な管理と市場の需要に対応して安定した供給可能な水処理加工施設は来年の春には奥大山のふもとにお目見えします。

### 奥大山の水 主な検査結果

項目	区分 厚生省令 水質基準値	奥大山の水
有機物等 (mg/l)	10以下	0.4
シアンイオン (mg/l)	検出されない	検出されない
水銀 (mg/l)	〃	〃
有機りん (mg/l)	〃	〃
銅 (mg/l)	1.0以下	0.01未満
鉄 (mg/l)	0.3以下	0.05未満
マンガン (mg/l)	0.3以下	0.01未満
亜鉛 (mg/l)	1.0以下	0.005未満

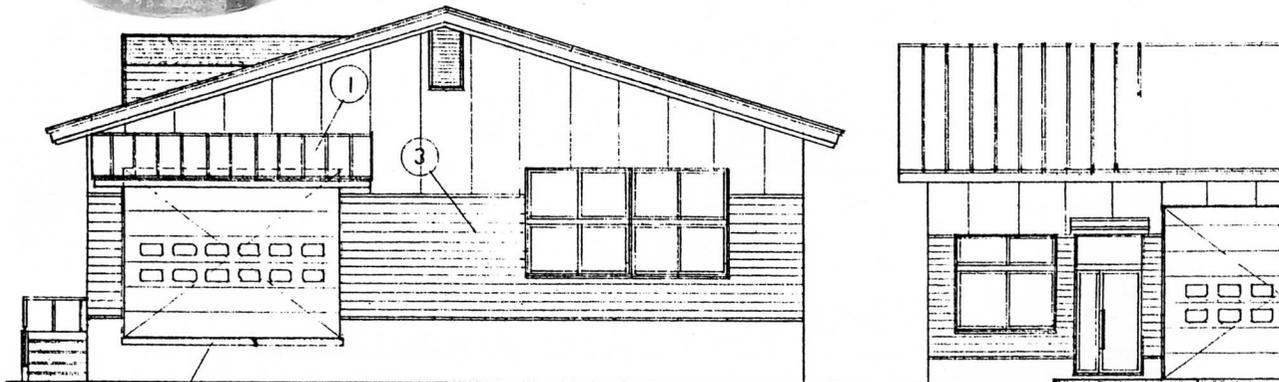
最大能力は一時間当たり

八百本一・五リットル製造



(3) 奥大山の水処理加工施設は御機集落から国民宿舎甘酒茶屋に

向う途中に建設されます。総事業費約一億五千万円、面



▶ 奥大山の水処理加工施設・立面図 ◀



▲福田町長と懇談する劉さん(左から2番目)

# よここそ、江府町へ 河南省中国からお客様

十一月一日(月)に中国の河南省より河南師範大学副教授、劉徳潤さんが来町されました。

劉さんは、町単独の海外研修事業で訪中した宇田川さん・楨田さん両氏の中国での通訳を務めた方でのたびは、境港市が昨年と今年に市教育代表団などが訪中した折に

両国の橋渡しとして活躍。そのお礼も込めて境港市が招待されました。

劉さんは、福田町長などと一緒に懇談したあと紅葉に色づく山々を見ながら、町内を視察。

「こんなすばらしい町と河南省が更に交流の輪がひろがれば」と所感を述べておられました。

# 海の幸がふんだんに

## 西ノ島町から新鮮魚貝類

農協まつりに参加



▶「おいしい魚がありますよ!!」と西ノ島町の岡田町長が先頭きつて売り込み(農協まつり)

十月三十一日(日)、西ノ島町からたくさん新鮮な魚貝類が農協本所前にずらりと並びました。

これは西ノ島町との経済交流の一環として、農協まつりに参加したもので、西ノ島町の岡田町長

みずから、町の特産品の売り込みに一生懸命。

店頭には新鮮なサシミの無料サービスもあり、訪れた人は口のなかでとろけそうなサシミに舌づつみを打っていました。

# 盛大に開催

## 高齢者スポーツ大会

十一月一日(月)、町民総合体育館で盛大に町高齢者スポーツ大会が開催されました。

町内七チーム(江尾A・B、米沢A・B、神奈川A・B、日光)にわかれて、それぞれの種

四〇〇人のお年寄り

熱気漂う

目に熱戦が行われました。四百人をこす人々でいっぱいになった体育館では各チームの熱心な応援も繰りひろげられていました。



▲各チームにわかれて、熱戦を展開(体育館で)



▲さあ、楽しく歩きましょう(老人福祉センター前)

「さあ、楽しく歩きましょう(老人福祉センター前)」  
 十月十日の体育の日、健康ウォークラリーが運動公園グラウンドを出発点として、江尾地内を一周する約五キロのコースで行われました。開会式では、鳥取県国民健康保険連合会の山本事務局長が挨拶。健康はまず歩くことから」と参加者に訴えました。参加者には国保のタオルやパンフレットが配られ、楽しく行われました。

# 家族いっしょに 気軽にのんびり歩け、歩け

健康ウォークラリー

▼参加者に配られたタオル(運動公園で)



十月十日の体育の日、健康ウォークラリーが運動公園グラウンドを出発点として、江尾地内を一周する約五

「じげフェスタ'93鳥取」in西部

## 鳥のモニュメント 「飛翔」製作

江府中学校



▲大きく翼をひろげた鳥を形どったモニュメント「飛翔」(米子高島屋展示ホール)

「じげフェスタ'93鳥取」に江府中学校の生徒が牛乳パックを利用して鳥のモニュメントを製作し、出品しました。

これは、十月十四日、十九日の間、米子高島屋で開催されたもので「飛翔」がテーマ、製作日数は約一週間。回収した牛乳パックは六百個。「どの方向からでも見えるように工夫しました」と語る生徒たち。大きな作品に訪れた人々の注目を集めていました。

# 大きく育て、ヤマメたち

ヤマメ等種苗放流事業で日野川支流に

▶ヤマメを放流する愛漁会の皆さん(船谷川)



十月八日、ヤマメ等種苗放流事業として日野川の支流にヤマメが放流されました。愛漁会の皆さんは、それぞれ小江尾川、船谷川、俣野川などにわかれて、三千匹のヤマメを

いつまでも  
豊かな川で

放流。「皆さんがルールを守って楽しく釣りしてもらえれば」と語る愛漁会の皆さん。この日は、日野川下流の町から順次放流が行われました。



▲能面を手渡す谷本さん(町長室で)

# 手づくりり面 知事さんと町に寄贈

本町4丁目  
谷本武市さん

手づくりり面を寄贈して  
くださったのは本町四丁  
目の谷本武市さん。

に約三百近い面を製作さ  
れました。  
柔らかい桐の木をつか  
って、彫り、  
形を整えたあ  
と、色をぬり  
完成するまで  
に約一カ月が  
かかります。  
もうひとつ  
製作された夜

## 今までにつくった 面の数は 300こえる

又の面は西尾県知事に寄  
贈されました。

谷本さんは、  
昭和四十八年  
ごろ、岡山市  
に在住しておられた時に  
神楽面づくりのクラブで  
その技術を学び、今まで

# 丹精込めて 育てた葉ぼたん 初収穫



▲秋晴れのもと、葉ぼたん収穫に汗流す(袋原で)

袋原の畑に見事に咲  
いた葉ぼたん。その葉  
ぼたんの収穫に余念が  
ないのが、「花の会」  
(会長・越峠恵美子)  
の皆さん。

今年、気候が不順

であったにもかかわらず、  
きれいに咲き誇つ  
た葉ぼたん。町の花壇  
にも皆さんの丹精込め  
てつくられた葉ぼたん  
が今、咲き乱れていま  
す。

## “飲んでみて、奥大山の水” 米フェスタ'93 新鮮野菜もいっぱい

東山運動公園内コ

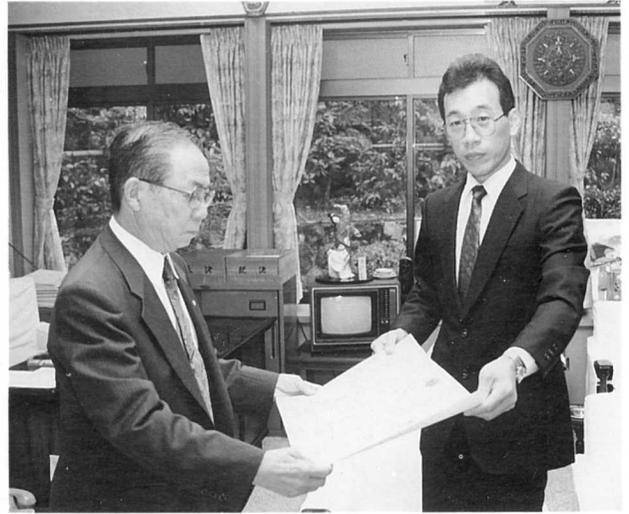


▲「おいしい、奥大山の水だよ」

品野菜や奥大山  
の水、そして大山  
おこななどの即売  
会が行われました。  
また、市民体育  
館では木工芸同  
好会の小椋福治さん  
(下蚊屋)がろくろ  
の実演が行われ、  
興味深く作業を見  
つめている人もた  
くさんいました。

ろくろの実演する小椋さん市民体育館  
十月十日、十一日の両日、米  
子市の東山運動公園で米フェス  
タ、森のまつりなどが開催され、





▲文部大臣賞の報告をする大森正文会長(町長室)

# 下蚊屋荒神神楽保存会 文部大臣賞を受賞

十一月五日、東京の如水会館で下蚊屋荒神神楽保存会(会長・大森正文)が地域文化功労賞として文部大臣賞を受賞されました。

これは、永年にわたって県指定無形文化財である荒神神楽を伝承、普及し、地域文化に多大に貢献されたことが認められ、このたびの受賞となったものです。

全国では、個人、団体を含めて九十二団体。受賞報告に訪れた大森会長は「本当にうれいのです。今後、ますます地域文化の振興に努めたいです」と抱負を語られていました。

# 文化のかがり煙う

## 新道 ふれあい文化祭



▲たくさんの展示物でいっぱい(新道会館)

十一月四日〜六日まで新道会館において、地元の睦美会(会長・宇田川勉)が主催して、新道集落ではじめての文化祭が盛大に開催されました。

出品点数は約百五十点。子供たちの絵、習字、写真をはじめ、農作物など

もあり、多種多様。「はじめての文化祭でしたが、地元の皆さんが積極的に出品していただき喜んでいきます。文化活動を通じて、地域の融和が更に深めれば、幸いです」と語る会長の宇田川さんでした。

# 大山

## 秋の一斉清掃

# みんなで きれいに しよう



▲側溝にすててある空缶を集める皆さん(御机周辺)

秋の大山、一斉清掃が十月十七日に行われました。江府町からはしゅうと

め会、母子会など三十人が参加。放置したままになっていた空缶などをひろい集めていました。

しゅうとめ会・母子会  
30人参加



▲厚生大臣表彰の報告をする石原さん(町長室)

# 厚生大臣賞に輝く

## 石原忠哉氏

食品衛生指導員  
26年間

十一月八日、鳥取市で開催された鳥取県食品衛生大会において、新道の石原忠哉さんが厚生大臣表彰を受賞されました。

石原さんは二十六年間食品衛生指導員として、県下の食品衛生の向上発展に多大に貢献されたことが認められたものです。

郡内では五人目。「今後も、微力ながら頑張りたい」と抱負を語られていました。また、日本食品衛生協会長の感謝状を川上憲司(御机)、食品衛生優良施設としてJA江府・江尾マーケットも会長表彰を受賞されました。

# 秋の火災予防週間 11/9 ~ 11/15

## 特別養護老人ホーム火災

### 連合演習行う



▲本番さながらの連合演習(チロルの里特別養護老人ホーム)

十一月八日、チロルの里特別養護老人ホームがら火災発生との想定のもと、広域消防と町消防団との連合演習が行われました。

十一月八日、チロルの里特別養護老人ホームがら火災発生との想定のもと、広域消防と町消防団との連合演習が行われました。

した。町消防団は消火にあたり、広域消防は人命救助などの任務に際よく行い、本番さながらの訓練が行われました。



▲建立したばかりの記念碑を見つめる皆さん(池の内会館前)

# 県の老人クラブ発祥の地・池の内

## 記念碑が建立

十一月六日、池の内会館前で鳥取県老人クラブの発祥の地を記念して、記念碑が建立されました。

これは、池の内老人クラブの常盤会(加藤珣紀会長)が県下初の老人クラブとして発足し、三十周年を迎えたことを記念して池の内集落が建立したものです。

記念碑の高さは約一メートルで御影石に碑文を記した銅板をはめ込んでいます。除幕式には会員をはじめ、集落の皆さんも出席し、盛大に開催されました。

十一月十三日(土)、十四日(日)に鳥取市の布勢総合運動公園で開催された第三十二回県農林水産祭の席上、優良農林水産業者(野菜)として桑原茂彦(大河原)が県知事賞を受賞されました。

# 県知事賞 桑原茂彦氏が受賞

優良農林水産者

県農林水産祭



▲県知事賞を受けた桑原さん(右側)

十一月十三日(土)、十四日(日)に鳥取市の布勢総合運動公園で開催された第三十二回県農林水産祭の席上、優良農林水産業者(野菜)として桑原茂彦(大河原)が県知事賞を受賞されました。

桑原さんは米、野菜、畜産の専門的複合農家で堆肥を投入して安全多収を図る土づくりに努めるなど、地域農業者の模範として貢献され、この功績が認められたものです。

## 海外研修事業

### 高山淳さん 本町一丁目 ボブスレー

### 国際大会出場に支援



▲町より支援を受ける高山さん

ボブスレー国際大会に日本代表選手の一員として参加することになった高山淳さん(本一)に町単独の海外研修事業で支援することが決定。十一月二十三日から八

日間、カナダのカルガリで開催されている大会に元気で参加されています。五年後に開催される長野五輪を目指している高山さん。今後の活躍が大いに期待されています。

## ウッデイライフスクール 閉講式が開催



▲一人ひとり修了証を受け取る受講生(役場・会議室)

七月十七日から十二回にわたって行われたウッデイライフスクールの閉講式が、十一月十三日に役場の会議室で行われました。

受講生八人にはそれぞれ修了証が手渡されました。

組木やパズルそして、小物入れなどを制作してきた受講生は、今までのことを振り返りながら、さまざまな話題に花が咲いていました。



# 『ねたきりなんて

# こわくない!!』

ねたきり防止講習会

主催/根雨保健所

## ■ねらい

「ねたきりは、適切な介護と訓練により予防できるものです」という意識と生活の中ですぐに役立つ介護の知識を知っていた、だからための講習会です。

## ■日時

十二月六日(月)

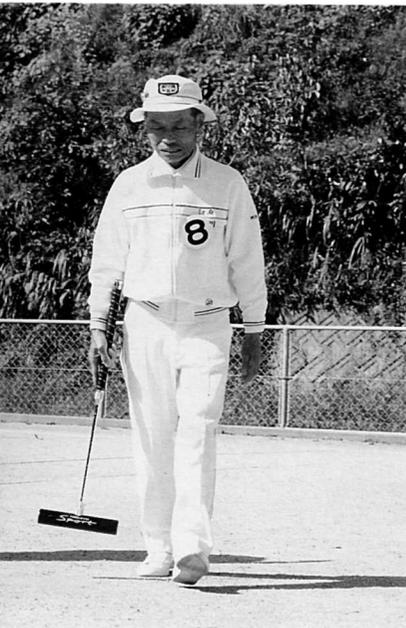
午後一時～午後四時

## ■場所

日野町山村開発センター

## ■内容

講演「ねたきりなんてこわくない!」



「今日はどうも調子が悪くて」  
(交通安全ゲートボール大会より)

—やる気をおこす介護とは—  
講師

岡山県津山環境保健所

作業療法士 坂井容子先生

## ●実技

(実技もありますので、動きやすい服装でお越し下さい)

## ■連絡先

根雨保健所

☎〇八五九・七二・〇〇四一

### やさしく観察

### して下さいネ

### オシドリ

### 近づかないで!!

南大山大橋の下にオシドリが生息していますが、最近、この

オシドリの近くまでいって観察などをされる方がおられます。

オシドリは大変、警戒心の強い鳥のため、人が近づくとその場に帰ってこなくなりま

す。どうか、オシドリを観察したい方は南大山大橋から双眼鏡などで観察して下さい。



## 11月は国民年金制度月間です

# 国民年金

# 大切に

国民年金は年をとったとき、また、思わぬ事故や病気で障害者となったときなどに、国民共済の基礎年金を支給し、生活の安定を図ることを目的とした公的年金制度です。  
明るく健やかな老後を送るため、自分自身の年金について今一度見つめ直してみましよう。

## 年金制度の

## 歴史をふりかえって

国民一般を対象とした年金制度が始まったのは、昭和十七年です。

工場などで働く男子労働者を対象とした労働者年金保険が発足し、その後には被用者を対象とした年金制度はさまざまの経過をたどって、今日では厚生年金保険、国家公務員等共済組合、地方公務員共済組合、農林漁業団体職員共済組合、私立学校教職員共済組合の五制度があります。

## 昭和36年から 自営業の方なども 加入対象に

昭和三十六年には、被用者年金制度の対象外であった自営業者の方を加入対象とした国民年金制度が発足しました。

これにより、すべての国民が何らかの形で公的年金制度の対象となることにより国民のすべての年金体制ができたわけですから、昭和六十一年四月には基礎年金が発足し、年金制度の基礎的部分が一元化され、平

成二年四月から被用者年金各制度間における費用負担の調整措置が一元化の完了までの間の措置として実施されます。

また、変化する時代にあつて年金制度を長期的に安定したものとするために、平成七年を目途に公的年金制度の一元化を完了する方針です。

## 給与の源泉所得税の

## 納期を忘れずに

給与・賞与に係る源泉所得税の納期は次のとおりです。

### 【毎月納付の方】

給与等の支給日の翌月十日

### 【納期特例の方】

一月～六月までに支給された給与等……………七月十日

七月～十二月までに支給された給与等……………翌年一月十日

ただし、納期特例の方の七月から十二月分については、納期の延長申請がされておられる一定の事項に該当しない場合は、翌年の一月二十日が納期になります。納期が遅れますと、加算税や延滞税が加算されますので、ご注意ください。

# 健康・大切に コーナー

# 家庭で簡単マッサージ

(国保カレンダーより)

マッサージには、なでる、たたく、押す、もむの4つのやり方があります。

## 首筋の疲れ

①首の骨の両側を上から下へもむ

②首の横側を肩のくぼみまで押す



③首全体をたたく



## 肩こり

①首のつけ根から肩先、二の腕までなでたりもんだりたたく

②肩甲骨の内側を上から下まで押す、たたく

③肩甲骨の中央あたりを押す



### ひたひた

手のひらをからだの表面にひたひたとつけてゆつくりと動かす。手だけを動かすのではなくからだ全体を移動させていくのがコツ。



### 押

手のひらや親指、ひじで3秒かけてゆつくり押しそのまま3秒保ち、3秒かけてゆつくり力を抜く。押しそうとしないでからだを持ち上げるようにするのがコツ。



### はたはた

軽い握りこぶしや手のひらをあわせてからだに触れたらねるようになる。力を入れられないこと、たたくないことがコツ。

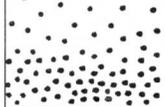


### もむ

親指を支点にして他の4本の指に力を入れてつかみ、ギョツと締め指を動かさないようにして回す。



## マッサージをするときは



- 入浴後や就寝前が効果的。食後すぐには行わないこと
- ベッドは少し固めがよい
- マッサージを受けるときはからだの力を抜き、楽な姿勢で
- 筋肉にそって、手足の先のほうから心臓の方向へ行う
- マッサージは手先だけでなくからだ全体を使って行う
- 気持ちよい程度にやるのが基本。必要以上に強くやらないこと
- マッサージ後は20~30分間は安静に
- 熱があるときはマッサージは禁物

## 腰痛

①背骨からお尻のほうまで手のひらでなでる

②腰全体をもむ



③ウエストのあたりを背骨のわきから外側に向けて押す

④尾てい骨のあたりを外側に向けて押す



# 人の動き



## 平成5年10月末

前月比	
世帯数	1,224世帯(+5)
人	□ 4,528人(-8)
男	2,168人(-8)
女	2,360人(±0)

### お誕生 おめでとう

(住所)(出生児)(保護者)(続柄)  
柿原 清水 翔平(しょうへい) 成一 二男

### ご結婚を 祝します

竹内 裕昭(ゆうしょう) 久連  
安 紀代美(きよみ) 大分県大分市から

村田 清美(しみ) 京都市  
宮本 幸恵(ゆきえ) 俣野から

竹内 俊明(しゅんめい) 倉敷市  
安藤 香里(かおり) 武庫から

妹尾 和之(わゆき) 吉原  
原田 和美(わづか) 米子市から

河上 宗晴(むねはる) 宮市  
藤山 佳子(よしか) 米子市から

宇田川 晃(あきら) 武庫  
松原 美枝(みえ) 日野町から

影山 進一(しんいち) 洲河崎  
野々村 淳子(じゆん) 米子市から

日野尾 本(もと) 武庫  
對馬由美子(ゆみこ) 北海道小樽市から

吉川 公人(こうじん) 江尾  
雲 直子(なお) 滋賀県甲賀郡から

桑本 誠(まこと) 武庫  
三原亜希子(あきこ) 島根県安来市から

米田 治史(しげし) 江尾  
五十川道世(みちよ) 福井県勝山市から

### ごめい福を 祈ります

(住所)(氏名)(年齢)(世帯主)  
本四 八榎 ツルヨ 79歳 藤江

本一 芦立 誠一 49歳 きぬこ

助沢 加藤 英壽 81歳 學

### ひとこと・ふたこと

### チームワーク の大切さ

日本代表サッカーチームがワールドカップ出場の夢をたれたことも知らず、その翌日一冊の本を買いました。その本の名

### 編集後記

▼紅葉をたずねて町内を回った。正直言つて、今年は山々の色がよくない。冷夏か長雨か、はたまた天のたたりか。

カメラを向けてもシャッターを押そうという気持ちになかなかならない。意気消沈していると「ご案内ホールの前のツツジがいい色になつているぞ」との励ましの弁を受け、勇んで行つてみると、真赤な色が飛び込んできた。赤のモミジ、赤のツツジそして朱色の鳥居。

は「日本サッカーの挑戦」。著者は日本代表サッカーチーム監督のハンス・オフト氏。(その後、オフト氏は監督を辞任)

「チームとして行動するときには、チームの中で自分に与えられた役割を果たすことに全力を尽くすべきだ。ひとたびチームとして目標が明確になり、方向性が明示されたら、勝手に行動することは許されない」。例えば、食事の時、全員が食べ終わるまで勝手に席を離れない、部屋割りもポジションを考えたものにと勝利のために必要だとすることはすべて実行してました。ひとつの「規則」も毎日行うことで「習慣」となるもの。すべて、ワールドカップ出場という

目標のために。  
また、指導者はそのチーム、プレーヤーについての全体像と物事に対する識別感をもつことを訴えていたオフト氏。

素人には、伸び伸びやっていた試合も見えない所での努力、その節度ある自己管理のなかから、見事なチームワークが生まれるように思いました。

どんな団体でもチームワークは大切です。個人の持ち味を見極めるリーダーの目と目標に向かつての自己を律する姿勢をこの本から学びました。惜しくもワールドカップには出場できませんでしたが、オフト氏の様々な示唆は大きな意味があると思います。(係)

見ている自分の目もうさぎの目になるようだった。(表紙の写真) 赤色は世界の国旗にも一番よくつかわれています。

いつまでも、燃えるような赤い色の情熱でシャッターを押し、ペンを走らせたものだ。

▼下蚊屋荒神神楽保存会が文部大臣表彰を、石原忠哉さんが厚生大臣表彰を受賞と喜びの話題がいっぱいの十一月号。

地道な活動に賞賛あり。受賞を契機に更なる活躍を大いに期

待したい。  
▼なんでも、初めてやることは大変なことだ。新道会館で行われた文化祭がそうだ。出展数は一五〇点以上。展示のなかには各家の宝物もずらりと並ぶ。皆さんのご協力があつてこそ、できました」と語る睦美会会長の宇田川勉さん。アイデアがあつても、それを具体的に実行するには、様々なご苦労があつたと思う。今後、地道に続けてほしい。



## 秋も終わり、もうすぐ冬がやってきます。

秋風に吹かれるすすき。くっきりと青空のひろがる昼下り。  
俣野川発電所ご案内ホールの入口では、赤く色づくどうだんツ  
ツジが朱色の鳥居の色と区別がつかないほどです。

紅葉ももう終わり、すぐそこまで冬が近づいているようです。